

広島大学女性科学技術フェローシップ制度(令和9年度)

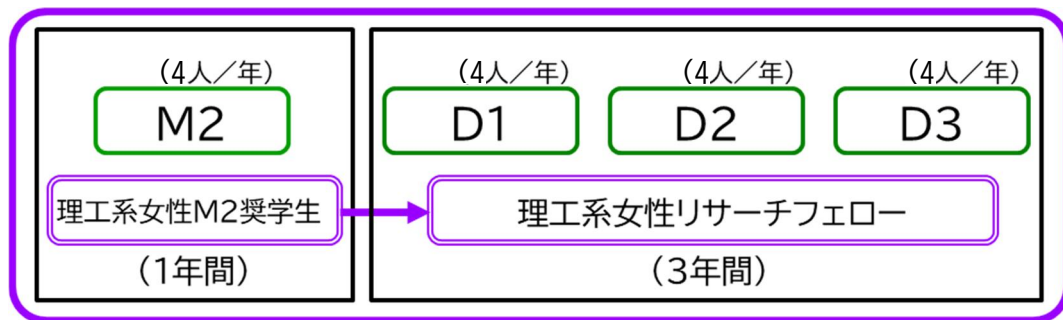
女性科学技術フェローシップ制度運営委員会

1. 趣旨

本学は理工系の女性の大学院生を対象として「女性科学技術フェローシップ制度」を実施しています。

女性の社会参画は進んでいますが、いまだに、理工系分野を専攻し、科学技術分野で活躍する女性が少ない状態が続いています。そこで、本制度では、広島大学から優れた理工系の女性研究者を輩出する基盤整備のため、科学技術分野で活躍する意欲のある女性の学生に研究専念支援金と研究費を支援します。このことにより、理工系の研究者となることを目指す女性の大学院生の、将来への意欲と希望を後押しします。

2. 女性科学技術フェローシップ制度の概要及び支援内容



本学の博士課程後期に進学する予定の理工系の女性のM1生を対象に、令和9年度の「理工系女性M2奨学生」を募集します。

「理工系女性M2奨学生」として採用されると、博士課程前期修了までの期間、研究専念支援金と研究費の支援を受けることができます。さらに、「理工系女性M2奨学生」が本学の博士課程後期に進学する場合、自動的に「理工系女性リサーチフェロー」として採用され、博士課程後期修了までの3年間、継続して「広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム（SPRING）」の次世代フェローとしての支援を受けることができます。

○募集人数

理工系女性M2奨学生（令和9年度）：4人程度

○支援期間

理工系女性M2奨学生：令和9年4月1日～令和10年3月31日

↓（本学の博士課程後期に進学した場合）

理工系女性リサーチフェロー：令和10年4月1日～令和13年3月31日

○支援金額

「理工系女性M2奨学生」への支援（M2）

- ・研究専念支援金 9万円／月
- ・研究費 24万円／年

「理工系女性リサーチフェロー」への支援(D1, D2, D3)

「広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム（SPRING）」の令和10年度支援金額（予定）のとおりに

- ・研究専念支援金 19万円／月（外国人留学生は支援対象外※）
- ・研究費 40万円／年

※外国人留学生には研究専念支援金の支援はありませんが、「広島大学グローバル博士フェローシップ制度」に応募できます。採択された方は研究員として雇用され、15万円／月を上限として給与が支給されます。

○備考

出産・育児、あるいは家庭の事情など、さまざまな事情による研究中断があった場合も、個別の事情を配慮して選考を実施しますので、積極的に応募してください。応募にあたり相談したい内容がありましたら、問合せ先に記載の担当者にお気兼ねなくご連絡ください。

また、「理工系女性M2奨学生」「理工系女性リサーチフェロー」として採用されている期間に出産・育児、あるいは家庭の事情などによる研究中断が必要となる場合も、個別の事情に配慮して対応いたしますので、お気兼ねなくご相談ください。

3. 応募資格

研究分野が別表に記載する小区分に対応している女性学生で、以下の(1)、(2)をいずれも満たす者

(1) 申請時点で、広島大学大学院博士課程前期第1年次に在籍しており、2028年(令和10年)4月に広島大学大学院の博士課程後期に進学する予定の者。

(2) 次の(a)～(d)のいずれにも該当しない者。

(a) 2027年(令和9年)1月～12月の収入が240万円以上とすることが見込まれる者（給与・役員報酬等の安定的な収入を指し、有償のインターンシップ、RA・TA、アルバイト等による収入は含まない。）

(b) 申請時点で、国費外国人留学生制度による支援を受けている留学生。

(c) 支援開始時に、母国から奨学金等の支援を受けることが見込まれている留学生。

(d) 支援開始時に、他の奨学金等との併給が不可とされる地方公共団体・民間団体等の奨学金を受けることが見込まれている者。

4. 応募方法

次の(1)と(2)のファイルに必要事項を記入し、(1)はExcel及びPDF形式で、

(2)はPDF形式で、(3)に示す申請フォームに提出すること。(いずれも日本語又は英語で記入すること。)

(1) [申請票A](#)

(2) [申請書B](#)

(3) 申請フォーム：次のサイトにある Microsoft Forms に必要事項を記入し、
申請票Aと申請書Bを登録。

URL: <https://forms.cloud.microsoft/r/1c8GXzGXPa>

5. 応募締切

令和8年11月13日(金) 午前11時59分(厳守)

6. 選考方法及び選考結果

- (1) 選考方法：女性科学技術フェローシップ制度運営委員会において、第1次審査（書面審査）と第2次審査（面接審査）により選考します。
- (2) 選考結果の発表：令和9年3月上旬(予定)

7. 留意事項

- (1) 理工系女性M2奨学生としての支援は1年間、理工系女性リサーチフェローとしての支援は3年間を上限とします。なお、出産・育児・傷病・留学等の場合で支援の中断・延長が必要となった場合は、個別の事情を確認して判断します。
- (2) 日本に居住していない場合は、研究専念支援金ならびに研究費は支給しません。
- (3) 早期修了や支援の取消し等により支援期間が短縮される場合、支援を終了する時点で研究専念支援金の支給を停止し、超過して支給している場合には、超過額を返還いただきます。また、研究費についても支援期間を短縮した月数に応じて按分した金額を返還いただきます。
- (4) 申請書Bは、日本学術振興会特別研究員(令和9年度)の申請書を基にしています。
本学では女性科学技術フェローシップ制度に応募する学生には日本学術振興会特別研究員にも応募することを、特にアカデミアを目指す者には推奨しております。女性科学技術フェローシップ制度に採択となった場合でも、原則、日本学術振興会特別研究員に応募してください。

8. 採択後の支援内容

別添1 <広島大学女性科学技術フェローシップ制度による支援の概要>をご覧ください。

9. 問合せ先

学術・社会連携室 学術・社会連携支援部 研究推進グループ

担当： 上代、高田、山根、水嶋

電話：082-424-7616, 5289, 5697（内線：東広島 7616, 5289, 5697）

E-mail: ura-women@office.hiroshima-u.ac.jp